

文化表現学科

觀光實務士課程

2025 年 4 月 1 日 更新

2025 年 6 月 13 日 更新

科 目 名	イベント・プランニング	単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員 かんざき こういち 神崎 公一				
ナンバーリングコード	FAS3212	授業形態	講義	実務経験	有					
授 業 方 式	[対面] • 遠隔 • その他 ()									
授 業 の 内 容	オリンピック、サッカーW杯といった国際大会から万博、音楽やアニメフェスなどイベント成功のカギは集客、収支、安全性などだ。イベントの歴史を学ぶとともに、近年、景気回復の切り札として注目される観光を中心にイベントについての企画立案やPRの具体的手法などを学ぶ。									
到 達 目 標	1. 立案から開催までイベント成功手法について理解し、説明できる 2. 文化祭など身近なイベントの企画立案をして発表することができる 3. 観光関連のイベントについて理解し、説明できる。									
学位授与方針	幼稚教育学科 () 地域保育学科 () 文化表現学科 (2.3)									
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション 講義の全体像の説明			予習 シラバスを読んでおくこと				
						復習 授業の狙いと意義について理解する				
	第2回	内容	イベント開催の狙いと種類を「嵐」のツアーから学ぶ			予習 イベントとは何か、種類について調べておく				
						復習 「嵐」のツアーの成功について理解する				
	第3回	内容	観光振興とイベント。アニメ聖地、B級グルメなどを学ぶ			予習 観光振興とイベントの関係を調べておく				
						復習 観光関連イベントの重要性を理解する				
	第4回	内容	観光業の実情と集客の切り札としてのイベントを知る			予習 観光業の実態について調べておく				
						復習 観光関連イベントの重要性を理解する				
	第5回	内容	ファンツーリズムとイベント「嵐」、韓流ドラマから学ぶ			予習 ファンツーリズムについて調べておく				
						復習 ファンツーリズムの実態を理解する				
	第6回	内容	ドラマや映画のロケ誘致で集客プランニングを学ぶ			予習 イベントとしてのロケ誘致について調べておく				
						復習 ロケ誘致がいかに効果的であるかを理解する				
	第7回	内容	経済効果が大きい五輪、万博、国際会議の誘致などを学ぶ			予習 国際的イベントについて調べておく				
						復習 国際的イベントの多彩な効果について理解する				
	第8回	内容	7回までの授業をもとにプレゼンテーション			予習 授業をもとに、プレゼン資料を作り、発表する				
						復習 プレゼンをもとに課題を検討する				
	第9回	内容	テーマパークや遊園地のイベント・プランニング			予習 レジャー施設のイベントについて調べておく				
						復習 レジャー施設のイベントの重要性を理解する				
	第10回	内容	地方の観光地、温泉地のイベントの成功例を学ぶ			予習 観光地、温泉地のイベントについて調べておく				
						復習 上記イベントの成功の理由を理解する				
	第11回	内容	観光列車、レストラン列車などのイベント企画を学ぶ			予習 交通機関のイベントについて調べておく				
						復習 交通機関のイベント効果を理解する				
	第12回	内容	インバウンド向けイベント・プランニングを学ぶ			予習 インバウンド向けのイベントを調べておく				
						復習 上記イベントの成功の理由を理解する				
	第13回	内容	デジタルによるイベント効果、オンラインイベント			予習 オンラインイベントなどについて調べておく				
						復習 オンラインイベントの効果と課題を理解する				
	第14回	内容	イベントの失敗と地元への影響（ゴミ、渋滞）を学ぶ			予習 イベント開催の課題について調べておく				
						復習 課題解決には何が必要かを理解する				
	第15回	内容	14回までの授業をもとにプレゼンテーション			予習 授業をもとに、プレゼン資料を作り、発表する				
						復習 プレゼンをもとに課題を検討する				
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。										
課題へのフィードバック	毎回、課題作文をグーグルクラスルームに提出して、前回授業の振り返りを行う。									
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ %）、レポート・課題（40%）、作品・発表（30%）、実技（ %）、授業態度【出席数、積極参加】（30%）									
教科書	特になし。必要に応じて資料を配布する。関連ウェブサイトを紹介する。									
参考文献	『ディズニーランドの秘密』有馬哲夫、新潮社。 『よみうりランド 70 年史』よみうりランド・神崎公一編 中央公論事業出版社 『会いたい気持ちが動かすファンツーリズム 韓流ブームが示唆したもの、嵐ファンに教わったこと』幸田麻里子、臺順子、流経大出版会									
補足事項	課題作文（200 字以上）は社会人になっても文章力アップに役立つことを理解し、積極的に提出してください。									

科 目 名	環境ツーリズム論	単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員 かんざき こういち 神崎 公一				
ナンバリングコード	TOS3223	授業形態	演習	実務経験						
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他 ()									
授 業 の 内 容	観光業が持続的に発展するには自然との調和、環境保護が欠かせない。地球温暖化や海洋汚染などを防ぎながら観光振興を図るために環境ツーリズムについて学ぶ。成功事例や問題点、観光と環境の両立は可能かを考える授業とする。									
到 達 目 標	1. 近年、注目されている環境ツーリズムの重要性を理解している。 2. 環境ツーリズムの実践例を知ることによって、課題などを説明できる。 3. 観光と環境の両立が可能かについて、意見をまとめられる。									
学位授与方針	幼稚教育学科 () 地域保育学科 () 文化表現学科 (1. 2. 3)									
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーションと授業の全体像			予習 シラバスを読み、授業の意義を考えること				
						復習 自分なりに環境関連で何を学ぶかをまとめる				
	第2回	内容	環境(エコ)ツーリズムとは何か。なぜ、注目されるのか			予習 環境ツーリズムが注目される理由を調べる				
						復習 地球温暖化などと観光の関連性をまとめる				
	第3回	内容	観光=経済・観光ビジネスと環境は両立するのか			予習 経済優先=儲けと環境の関係を調べておく				
						復習 経済と環境の両立させた事例をまとめる				
	第4回	内容	環境ツーリズムと日本エコツーリズム協会の活動			予習 日本エコツーリズム協会の活動を調べる				
						復習 同協会加盟の団体の活動についてまとめる				
	第5回	内容	環境ツーリズムの実践例① 里山・村落			予習 埼玉県飯能の環境ツーリズムについて調べる				
						復習 全国の環境ツーリズムについてまとめる				
	第6回	内容	環境ツーリズムの実践例② 温泉			予習 岐阜県下呂温泉の環境ツーリズムに関し調べる				
						復習 温泉地の環境ツーリズムについてまとめる				
	第7回	内容	環境ツーリズムの実践例③ 世界遺産			予習 富士山や知床などの環境問題を調べておく				
						復習 世界遺産と環境問題についてまとめる				
	第8回	内容	インバウンドと環境ツーリズム			予習 外国人の環境問題の関心の高さを調べておく				
						復習 外国人対象の環境ツーリズムをまとめる				
	第9回	内容	海外の環境ツーリズム先進例① カナダ			予習 カナダの観光と環境の関連を調べておく				
						復習 カナダ国民の環境保護に関する意識をまとめる				
	第10回	内容	海外の環境ツーリズム先進例② ハワイ			予習 観光の島、ハワイについて調べておく				
						復習 ハワイ観光に関する環境対策をまとめる				
	第11回	内容	旅行業界、地域団体と環境ツーリズム			予習 環境ツーリズムと旅行業界の関係を調べておく				
						復習 環境ツーリズムと旅行業界の実践例をまとめる				
	第12回	内容	企業が取り組む環境ツーリズム			予習 JAL, JRなどの環境への取り組みを調べておく				
						復習 観光関連産業の環境に配慮する理由をまとめる				
	第13回	内容	旅行者自身が行う環境に優しい旅とは			予習 環境に優しい旅はどのようなものか調べておく				
						復習 環境に優しい旅の具体的な事例をまとめておく				
	第14回	内容	環境ツーリズムの課題と将来性			予習 環境ツーリズムの課題について調べておく				
						復習 環境ツーリズムの将来性についてまとめる				
	第15回	内容	プレゼンテーションおよびディスカッション			予習 これまでの講義について発表資料を作っておく				
						復習 ディスカッションした内容を整理する				
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。										
課題へのフィードバック	毎回指示する課題作文を提出し、授業の振り返りを行う									
成績評価	試験期間における定期試験：実施 () する／(○) しない 成績評価の方法： 筆記試験 (%) 、レポート・課題 (40%)、作品・発表 (20%)、実技 (%)、授業態度【出席数、積極的参加】(40%)									
教科書	使用しない。必要に応じ、資料を配布する									
参考文献	『観光の力』(半藤将代、日経ナショナルジオグラフィック社) 『日本エコツアー・ガイドブック』(海津ゆりえ、岩波書店) 『エコツーリズムの世纪へ』(エコツーリズム推進協議会)									
補足事項	関連図書が多くないので、日本エコツーリズム協会や政府観光局のウェブサイトを参考にする。									

	成績評価の方法：レポート・課題（20%）、作品・発表（30%）、実技（30%）、授業態度【自主性・協働性】（20%）
教科書	『月刊 エアステージ』（イカロス出版）
参考文献	
補足事項	<p>授業で学んだ英単語やフレーズを、旅行先や外国人との対話チャンスで活かしていく。 例：街中での道案内、レストランやカフェでの注文 飛行機を利用した時には飛行場や機内アナウンスを英語で聞き取るように意識する</p>

科 目 名	観光英会話	単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員 はやし たかこ 林 貴子				
ナンパリングコード	TOS3222	授業形態	演習	実務経験						
授 業 方 式	<input checked="" type="checkbox"/> 対面 • 遠隔 • その他 ()									
授 業 の 内 容	<p>本授業では、海外からの訪問客に英語で対応する際の基本的な表現や説明の仕方を目的とした英会話を学ぶ。</p> <p>近年の訪日外国人の増加に伴い、英語による適切でスムーズなコミュニケーションを図ることが必要とされることを鑑み、外国人客と日本人スタッフの二者間の会話を中心として、ロールプレイング等による練習を行う。</p>									
到 達 目 標	<p>1. 外国人観光客に英語で必要な情報を提供することができる。</p> <p>2. 観光ビジネスや接客に関する基本的な英会話を身につけている。</p> <p>3. 外国人に英語で日本の文化や伝統を紹介することができる。</p>									
学位授与方針	幼稚教育学科 () 地域保育学科 () 文化表現学科 (1, 2, 4)									
授 業 計 画	第1回	内容	ガイダンス (授業概要説明、成績評価説明)			予習 シラバスを読んでおく				
						復習 授業の進め方や成績評価について確認する				
	第2回	内容	Unit 1. Transportation			予習 教科書の交通に関する語の意味と I C カードについての説明文について調べておく				
						復習 交通についての会話文を音読する				
	第3回	内容	Unit 2. At a Check-in Counter (hotel)			予習 教科書のホテルでのチェックインに関する単語の意味を調べる				
						復習 ホテルでのチェックインの会話を音読する				
	第4回	内容	Unit 3. Facilities and Services (hotel)			予習 ホテルの施設に関する単語の意味を調べる				
						復習 ホテルの施設に関する会話を音読する				
	第5回	内容	Unit 4. Giving Directions			予習 道案内に関する単語の意味を調べる				
						復習 道案内の会話を音読する				
	第6回	内容	Unit 5. Recommending a Trip			予習 海外からのお客様に観光スポットを勧める際に使う単語の意味を調べる				
						復習 観光案内に関する会話を音読する				
	第7回	内容	Unit 6. Dining in Japan ①			予習 日本の食事に関する単語の意味を調べる				
						復習 日本の食事に関する会話を音読する				
	第8回	内容	Unit 7. Dining in Japan ②			予習 日本料理を説明する際に使う語句の意味を調べる				
						復習 日本料理を説明する会話を音読する				
	第9回	内容	Unit 8. Arranging a Tour			予習 海外からのお客様に国内旅行をアレンジする際の単語の意味を調べる				
						復習 海外からのお客様に国内旅行をアレンジする会話を音読する				
	第10回	内容	Unit 9. Staying at a Ryokan			予習 旅館でのマナーを説明する際に使う語句の意味を調べる				
						復習 旅館でのマナーを説明する文章を音読する				
	第11回	内容	Unit 10. Culture Experience in Japan ①			予習 日本の伝統文化を紹介する際に使う単語の意味を調べる				
						復習 日本の伝統文化を説明する会話を音読する				
	第12回	内容	Unit 11. Culture Experience in Japan ②			予習 日本の年間行事を紹介する際に使う単語を調べる				
						復習 日本の年間行事を説明する会話を音読する				
	第13回	内容	Unit 12. Japanese Souvenirs			予習 日本のお土産の紹介をする際に使う単語の意味を調べる				
						復習 日本のお土産を説明する会話を音読する				
	第14回	内容	Unit 13. Dealing with Health Problems and Emergencies			予習 旅行中の病気について説明する際の単語の意味を調べる				
						復習 お客様が病気をされた際の会話を音読する				
	第15回	内容	Unit 14. Dealing with Complaints and Accidents			予習 クレームや問い合わせへの対応で使う単語の意味を調べる				
						復習 クレームに対応する際の会話を音読する				
予習に要する学習時間：概ね 40 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。										
課題へのフィードバック	発言の際、発音や英語の表現等についてのフィードバックを行う。また授業内に実施する小テストの採点・評価をして返却する。									
成績評価	試験期間における定期試験：実施 () する / (○) しない 成績評価の方法： 授業内小テスト (60 %)、授業内発表 (20 %)、授業態度【 積極的参加 】(20 %)									
教科書	『Hospitality on the Scene』(上杉恵美・阿部佳・渭東史江・神末武彦・Jacob Schere、金星堂)									
参考文献	なし (必要な際はプリントを配布したり、動画を見たりする。)									

補足事項	毎回辞書（電子辞書・紙の辞書可）を持参すること。スマートフォンを辞書として使用するのは不可。会話のクラスなので、積極的に英語を話すこと。
------	--

科 目 名	キャリアスタディ(企業人に学ぶ)	単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員 いとう あきよし 伊藤 明芳 他			
ナンバーリングコード	CAE3213	授業形態	講義	実務経験					
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他 ()								
授 業 の 内 容	企業との連携により実施する授業です。現役で働いている企業の方を講師としてお招きし、企業の職種・業務の内容を中心とした説明を受ける授業と社会人としてのマナーなどを学ぶ授業の2本立てとなっています。授業を通じて、就業する際に必要な「業種・職種」を理解し、併せて企業の「人材採用方針」「社会人としてのマナー」等についても認識できるようにします。毎回「課題レポート」等の執筆を課すアクティブラーニングの授業です。								
到 達 目 標	1. 企業の職種、業種を理解することができる。 2. 企業の人材採用方針について理解することができる。 3. 社会人としてのマナーやTPOを知り、企業社会と働き方を認識することができる。								
学位授与方針	幼稚教育学科 () 地域保育学科 () 文化表現学科 (2. 3. 4)								
授 業 計 画	第1回 内容	学長講話			予習	シラバスを読んでおくこと。			
					復習	授業内容を確認し、小レポートを作成すること。			
	第2回 内容	学長講話			予習	前回内容の復習と小レポート提出。			
					復習	授業内容を確認し、小レポートを作成すること。			
	第3回 内容	学長講話			予習	前回内容の復習と小レポート提出。			
					復習	授業内容を確認し、小レポートを作成すること。			
	第4回 内容	業界・企業研究①			予習	事前の予定表に基づいて産業界・企業について調べておくこと。小レポート提出。			
					復習	授業での気づきノートに記入し確認すること			
	第5回 内容	業界・企業研究②			予習	事前の予定表に基づいて産業界・企業について調べておくこと。			
					復習	授業での気づきノートに記入し確認すること			
	第6回 内容	業界・企業研究③			予習	事前の予定表に基づいて産業界・企業について調べておくこと。			
					復習	授業での気づきノートに記入し確認すること			
	第7回 内容	SPI			予習	SPIについて調べておくこと。			
					復習	授業での気づきノートに記入し確認すること			
	第8回 内容	業界・企業研究④			予習	事前の予定表に基づいて産業界・企業について調べておくこと。			
					復習	授業での気づきノートに記入し確認すること			
	第9回 内容	業界・企業研究⑤			予習	事前の予定表に基づいて産業界・企業について調べておくこと。			
					復習	授業での気づきノートに記入し確認すること			
	第10回 内容	業界・企業研究⑥			予習	事前の予定表に基づいて産業界・企業について調べておくこと。			
					復習	授業での気づきノートに記入し確認すること			
	第11回 内容	社会人としてのマナー①			予習	社会人としてのマナーについて調べておくこと。			
					復習	授業での気づきノートに記入し確認すること			
	第12回 内容	社会人としてのマナー②			予習	社会人としてのマナーについて調べておくこと。			
					復習	授業での気づきノートに記入し確認すること			
	第13回 内容	社会人としてのマナー③			予習	社会人としてのマナーについて調べておくこと。			
					復習	授業での気づきノートに記入し確認すること			
	第14回 内容	社会人としてのマナー④			予習	社会人としてのマナーについて調べておくこと。			
					復習	授業での気づきノートに記入し確認すること			
	第15回 内容	社会人としてのマナー⑤			予習	社会人としてのマナーについて調べておくこと。			
					復習	授業での気づきノートに記入し確認すること			
予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 120 分を目安とする。									
課題へのフィードバック	課題（気づきノートの作成）などを通じて学習内容の理解増進を図ります。								
成績評価	試験期間における定期試験：実施 () する／(○) しない 成績評価の方法： 筆記試験 (%)、レポート・課題 (90 %) 作品・発表 (%)、実技 (%)、授業態度【課題提出状況】(10 %)								
教科書	特にしません。								
参考文献	特にありません。								
補足事項	毎回の授業内容を把握しているか否かを、授業終了後に提出する「課題レポート」の内容で判断します。成績評価の基準は「課題レポート」の内容によって決まります。毎回が試験のつもりで頑張ってください。								